
戦闘絵師

アイス

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

戦闘絵師

【Nコード】

N2766J

【作者名】

アイス

【あらすじ】

主人公 ほしかわ 星川 さなみな 真水は昔から描いた絵に魂を吹き込んでしまうことがあった。
ある日登校途中に みなつき 水無月 りょうじ 涼子と出会い、自分が絵師の力があることを知る。

そして涼子といろいろな絵と戦う戦闘絵師になる。

「よし、支度おk！虎猫行くぞ。」

時間がないので無理やり鞆に虎猫をいれたら、虎猫は悲鳴をあげた。

まあ気にしないでいよう・・・ 紙だから破けなければ大丈夫だろう。

家から飛び出て全速で走ると、朝の冷たい空気が徹夜の体に突き刺さる。

「さなみなのはかちんっ！！」

ずっと虎猫が文句を言ってるさいけど、すこしかわいそうになってきたので・・・

「後少しだから我慢し・・・」

バコオツツツツツツツツツ！

最後まで言えず、俺は宙に吹き飛ばされて少し遅れて激しい痛みを感じた。

「大丈夫かその兄ちゃん？悪かったねー 一応ごめんごめん」
なんだこのバイクに乗ってるポニーテール女・・・そんでもって
ノーヘル。

全然悪かったと思ってなさそうだし、軽く笑ってる。

「ちょ、てめー」

「タフな兄ちゃんだね」

ああ頭から血が出るらしくてふらふらする。つか全身痛い

「んじゃなくて・・・」

俺は腕時計を見た。

もう今の事故で壊れて止まったけど、この時間じゃまた遅刻しちまう。

「やべ、もう行かなきゃ」

そのままふらふらと走って学校に向かった。

「あれ？何この猫みたいな虎みたいな絵。下手？ん、でもこの絵・・・」

携帯を取り出し、ポニーテールの女は、嬉しそうに電話をかけた。

「もしもし〜面白い人見つけちゃったから調べてもらいたいんだけど？」

このとき俺は虎猫がポニーテールの女手に渡ってることを知らなかった。

寝坊（後書き）

慣れてないので変なところがあると思います。
感想おまちしております

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2766j/>

戦闘絵師

2011年2月3日02時00分発行